

令和元年度黒部市議会報告会報告書

1 開催概要

- (1) 日時 令和元年 7 月 25 日(木) 午後 7 時 0 分～午後 8 時 1 分
(2) 場所 黒部市庁舎 202・203 会議室
(3) 出席人数 70 名 (資料配布実数)

2 報告内容

※パワーポイント資料、参考配布資料は別添の P D F 参照

1 開会あいさつ 辻 泰久議長

○第 1 部(議会報告)

2 常任委員会報告

- (1) 総務文教委員会 成川正幸委員長
(2) 生活環境委員会 柴沢太郎委員長
(3) 産業建委員会 高野早苗委員長

3 特別委員会報告

- (1) 観光・都市活性化振興特別委員会 新村文幸委員長
(2) 学校統合及び跡地利用対策特別委員会 辻 靖雄委員長
(3) 議会改革特別委員会 木島信秋委員長

(質疑応答) 特になし

○第 2 部(意見交換)

テーマ「議員定数について」

- ・議員定数の推移 成川副委員長から合併時から現在までの経緯説明
 - ・事前応募意見紹介 成川副委員長から事前応募意見を報告
- ※事前応募意見、参加者からの意見(要約)は次ページ以降に記載

4 閉会あいさつ 小柳勇人議会運営委員長

3 事前応募意見（原文そのまま）

- ・有権者である。

議員定数を減ることは賛成であり、無投票当選ことは反対である。

民主主義を喚起させること、民主主義を反映させることはすべきである。

- ・前回、選挙戦にならなかったのは、問題である。

- ・65歳以上の議員が多く、若い人が少ない。

- ・若い人の成り手が出てくるよう、定数を例えば16名に削減して、その分議員報酬を引き上げたらいい。

- ・黒部市より人口が多い魚津市でも議員が17名なのだから、黒部市は16名が良いのではないか。

- ・昨年の市議選告示で、出馬状況を伺いながら締め切りギリギリになって出馬届を出すような人に市政を任せられない。

- ・市議会議員は、選挙で「選ばれた人」がなるべきであり、無投票は望ましくない。候補者を擁立できなかったのは市民の責任である。

- ・定数を削減し、立候補する際の年齢制限（上限）を定めるべきである。

- ・市議会議員としての職責を果たさず給料だけはしっかりと貰っている議員は辞任すべきである。市民の血税がそんなことに使われていることに強い怒りを覚える。議員定数を減らし、市を代表する議員として相応しい方だけが選ばれるようにしてほしい。

- ・人口の割に市議会議員が多いのではないかと？定数18名だが、15名では市政の運営はできないのか？削減した3名分の議員報酬を15名の議員報酬増額に充ててはどうか。新しい風、若い発想力が必要になる時代、安定した生活ができるほどの報酬がなければ若者が立候補しない。

4 意見交換要約

- ① (三日市) 定数削減には、消極的だが反対。その理由を述べるには 10 分以上かかるが無理なら言わない。発言時間の制限を 3 分と設けたのは議長か。
(広報広聴委員長) 本報告会は時間を 60 分程度としており、他の方もおられるので 3 分以内で発言願いたい。後ほど時間があれば改めてご意見を伺いたい。
- ② (生地) 黒部市は人口の割には税収が多いと思う (参考配布資料)。余裕ある市政。若者が出易くする方策を議員間で考えたことがあるか。
(広報広聴委員長) そういった意見を参考に今後議会内で議論していきたい。
- ③ (田家) 3 点言う。身を粉にして働く方なら 18 名で OK だが現状は難しい。議員の質を上げるために、議員間で自己申告する制度が欲しい。利害関係の薄い青年会議所からの提言を入れて欲しい。
- ④ (三日市) 黒部市のコミュニティ数を考えれば 18 名でも良い。仮に 15 名にして議員報酬を増やしても若い人は立候補しないと思う。市議の仕事に魅力を感じてないし、反対に給料泥棒といわれるだけ。これから議員は町内会長の延長で、土・日だけとか夜 7 時からの議会にして、給料は 10 万円で副業をどんどんやってもらおうという時代が来るのではないか。
- ⑤ (三日市) 合併からかなり定数が減っているが議員の負担は増えているか。
(広報広聴委員長) この場では個別の案件について答えられないが、何らかの形で答える機会を考えたい。
- ⑥ (石田) H26 年 823 市を検証。人口 5 万人程度の平均議員定数は 17.9 人。本市の 18 人は概ね妥当と思う。定数削減は美德との考えがあるが議員の出ない地域は投票率も下がり市政への関心も下がる。単に減らすのにはマイナス要素もある。例えば大胆に 8 人減らして 10 人にし、常勤かつそれに見合う報酬にとの考えもあるが、現議員 18 人はそれぞれの地区や市政の問題点を把握していると思う。削減ありきは問題があると思う。

- ⑦ (大布施) 定数の議論が出るのは、現議員にいないと思う人がいるのではないか。定数は18名で妥当と思うが、一旦議員になれば4年間出来るというのがおかしいのではないか。なって相応しくない人がいれば議員や議会の中で辞めさせるシステムが必要。若い人が議員報酬だけで生活できるように報酬はもっと上げてほしいと思う。
- ⑧ (荻生) 現状の定数18名に対して何故立候補する人が少ないのか。原因を捉えることが必要。報酬37万円に対して現行会社勤めの人辞めて議員になるのは大変。18名を15~16名にと短絡的に減らせばいいという問題では無いと思う。
- ⑨ (三日市) 改めて発言する。市議会議員になることに魅力がない。魅力のある職務でなくなっている。何故かという、良い市政というのは市長と議会が良い意味でけんかをしていなければならない。本市に限らず市長の職務が強すぎる反面、市議会が弱すぎる。どうやって市議会の力を強くするか。魅力のある職責にするには予算と人事が最も重要と考えるが、現行人事は議会の承認を必要としていない。例えば箱物を作れば維持管理にコストがかかり、人件費を左右する人事は大事。人事も議会の承認制度にすればいい。市長と議会の権限を五分五分にしなければ、魅力のある職責とはならないし、立候補する人はいないだろう。以上。

5 議会報告会を終えて

本議会報告会の意見交換では、初めての試みとして「議員定数について」のテーマに絞った。テーマに沿って事前に意見を募集し、また当日参加者から意見を頂く前に発表することによって、参加者の皆さまからも多くのご意見を頂くことができた。また、発言できなかった参加者からもアンケートにより頂いた。多種多様な貴重なご意見を今後の議会運営に反映させたい。

今回はQRコードを用いたポスターによる各地区振興会への宣伝、みらいテレビ、広報紙等での開催案内や、「議員定数について」という市民の皆さまから関心の高いテーマを意見交換会のテーマとして選んだこともあり、前を上回る参加者数となった。次回開催時にもより多くの市民の皆さまに参加していただき、有意義な報告会となるよう、よりよい告知方法や報告会の内容について引き続き検討したい。